

PALSAR ScanSAR インタフェロメトリによる地殻変動抽出

Extraction of crustal movement using PALSAR ScanSAR interferometry

山口 志野 [1]; 宮脇 正典 [1]; 木村 恒一 [2]

Shino Yamaguchi[1]; Masanori Miyawaki[1]; Tsunekazu Kimura[2]

[1] NEC 航空宇宙システム; [2] 日本電気 (株)

[1] NEC Aerospace Systems; [2] NEC Corp.

陸域観測技術衛星 ALOS は、2006 年 1 月に打ち上げられ、災害監視、環境監視等様々な分野において多くの成果を出している。ALOS には電波センサである PALSAR が搭載され、特に SAR インタフェロメトリ技術を用いた地殻変動検出において数々の成果を出してきた。

本報告では、PALSAR スキャン SAR モードの干渉ペアを用いて 2008 年 5 月 12 日に発生した中国四川地震の地殻変動抽出を行った。その結果、PALSAR スキャン SAR モードの観測データを用いた SAR インタフェロメトリにより、高分解能モードと同様に地殻変動検出が可能であることが示された。また、スキャン SAR インタフェロメトリは、広範囲の地殻変動の様子を知るのに非常に有効であり、今後の更なる利用が期待できる。